

(様式3)

## 平成30年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	身体障害者福祉センター	所在地	伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター1階
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	・身体障害者の教養の向上、社会との交流の促進及びレクリエーションの実施に関すること ・身体障害者福祉関係団体に対する便宜の供与等に関すること ・ボランティアの養成及び活動等に関すること ・その他身体障害者の福祉増進に必要な事業		
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室、個別指導室 等		
職員体制	センター長 1名(兼務) 事務職員 3名		
施設所管課名	障がい福祉課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	8,341,000	8,341,000	8,341,000	0
	利用料金	166,846	105,397	99,663	△ 5,734
	その他	35,400	0	0	0
	計(a)	8,543,246	8,446,397	8,440,663	△ 5,734
	支出				
	人件費	2,842,393	2,982,970	2,096,553	△ 886,417
	管理運営費	3,334,123	3,569,866	3,182,305	△ 387,561
その他	2,023,748	2,366,000	0	△ 2,366,000	
計(b)	8,200,264	8,918,836	5,278,858	△ 3,639,978	
収支差引額(a)-(b)		342,982	△ 472,439	3,161,805	3,634,244

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	支出人件費:職員人事異動による減。 支出その他:繰入金、剰余金積み立て支出なしによる減。
----------------------------------	---

### 3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
施設の設置目的の達成のため努力した。身体障害者福祉センターの利用者は、前年度比較で、1,000人の減少となった。 身体障害者デイサービスの利用者は164人減少した。今後もアンケートを行いニーズに沿った教室を実施したい。また利用者が高齢化しているため、新たな利用者ができるように教室の工夫や周知に努めたい。	施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。また、身体障害者福祉センター、身体障害者デイサービスの利用者数は減少したが、施設の設置目的については達成されたと評価できる。 今後も、利用者のニーズに即した事業展開を心がけ、身体障がい者の福祉増進に努めてもらいたい。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

		施設名		身体障害者福祉センター	
評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を理解し管理運営に努めた。	A	施設の設置目的や基本方針を理解し、管理運営に努めたと思われる。
	②施設設置目的の達成度	A	障がい者を対象とした教室等開催し施設の目的達成に努めた。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	B	年間利用者数は、平成29年度の29,907人に対し、平成30年度は28,907人になり1,000人の減少となった。	B	前年度より減少した。
	④運営状況	A	施設の供用日数・供用時間を守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営と思われる。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったと思われる。
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	運営業務全般において、伊勢市と協議や連絡調整を行いながら、業務を遂行していた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされており、月報・年報にて報告がされていた。
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	イベント開催及び開催支援を行い、地域交流を積極的に実施していた。
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱いは、適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	帳簿は適正に作成されていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、適切に行われていたと思われる。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	法令違反は、見受けられなかった。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

		施設名		身体障害者福祉センター		
評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	身体障害者サービスの工夫を心がけ、福祉健康センターフェスティバル等の開催時には、身体障害者サービスの周知をし利用者増加に努めた。	A	前年度同様、利用者増員に取り組んでいる。	
	②利用者の平等な利用	A	職員間での情報の共有等を行い、利用者への平等なサービス提供に取り組んだ。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。	
	③適切な情報提供	A	社協だよりに各教室への募集を掲載した。福祉健康センターだよりを発行し公共機関等への配布を行なった。ホームページでの情報提供を行なった。	A	適切な利用情報の提供を行っていたと思われる。	
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルを作成し、年2回避難訓練を実施した。また職員全員が、AEDの講習を受講し非常時・緊急時の対応に備えた。	A	緊急時を想定したマニュアル整備、避難訓練を実施するなど、適切に行われていた。	
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見・苦情等を受けて、迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたと思われる。	
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	利用者ニーズに即した自主事業が行われていた。	
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	事業実施後には、反省会等を行い見直しや新しい取り組みなどの意見を交換し、次年度につなげる努力をした。	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	設備の定期点検、建物の安全点検を行った。また植栽管理し安全の確保、美観の保持を心掛けた。	A	毎月、安全点検等適切に行い、月報にて報告されていた。	
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。	
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	毎月、安全点検等適切に行い、月報にて報告されていた。	
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	清掃は適切に行われていた。	
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は所定の場所に保管し、貸出簿の記入を行った。最終退館者が退館簿に記入をすることを徹底した。夜間は業者に委託し防犯対策をし問題はなかった。	A